

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月 17日

協議会名: 湖東圏域地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
近江タクシー株式会社	河瀬東・豊郷線 市立病院～河瀬駅西口～雨降 野信号前	乗合率の目標を達成するため に乗合率向上施策を継続して 検討しているものの、現在まで 実施には至ってない。 ただし、利用者の利便性向上や 地元住民からの要望への対応 として、小野線、宮田線、山手 線、石寺線、新海浜線、萱原 線、大君ヶ畑線において、目的 地である病院や商業施設へ直 接行けるように一部経路の延 伸や新規停留所の追加、既存 停留所の移設を行い、乗り合う 機会を創出した。 また、乗合率向上施策を考える 基礎資料として、路線別・時間 帯別の運行状況(稼働率)や乗 合率を分析し、各路線の需要分 析を実施した。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	B 平成29年度の利用者数は 約2,600人と昨年度(約2,700 人)より減少。また、乗合率 も、1.40人と昨年度(1.50人) より下降した。	湖東圏域全体として、年々利用 者数が増加し、乗合率も上昇し ていたが、平成29年度は昨 年度と同程度であるものの、目 標値まで後少しのところまで 迫っている状況である。 利用者数は現在頭打ちとなっ ている状況であり、今後の乗合率 向上施策によっては、乗合率の 目標達成が可能と考えている。 そのため、継続的に検討してい る施策のうち、採用する施策を 早期に決定し、実施もしくは実 証実験する必要がある。 一方で、乗り合うことへの抵抗 がある人は、7.3%と低いこと、乗 り合いを増やすための方策とし て目的地までの所要時間が10 分長くなることに対して56%が許 容できると回答されたことを鑑 み、同時刻発の停留所を減らす など、細かなダイヤ設定を他路 線でも継続して検討していく。 これは、将来、需要が増加して も配車に必要な台数を抑制し、持 続可能性の観点からも重要で あると考える。
近江タクシー株式会社	亀山線 市立病院～河瀬駅西口～豊郷 駅		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	B 平成29年度の利用者数は 約900人と昨年度(約800人) より増加。しかし、乗合率 は、1.25人と昨年度(1.26 人)より若干下降した。	
近江タクシー株式会社	宮田線 市立病院～鳥居本～摺針		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	A 平成29年度の利用者数は 約1,100人と昨年度と同程 度。一方、乗合率は、1.26人 と昨年度(1.21人)より若干 上昇した。	
近江タクシー株式会社	山手線 市立病院～鳥居本～笹尾		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	B 平成29年度の利用者数は 約500人と昨年度(約600人) より若干減少。また、乗合率 も、1.18人と昨年度(1.23人) より下降した。	
近江タクシー株式会社	小野線(時計回り) 市立病院～鳥居本～高根団地 東		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	B 平成29年度の利用者数は 約900人と昨年度(約700人) より増加。一方、乗合率は、 1.30人と昨年度(1.31人)より 下降した。	
近江タクシー株式会社	小野線(反時計回り) 市立病院～鳥居本～高根団地 東		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	B 平成29年度の利用者数は 約2,700人と昨年度(約2,100 人)より増加。また、乗合率 も、1.39人と昨年度(1.29人) より上昇した。	
近江タクシー株式会社	新海浜線 市立病院～稲枝駅～豊郷駅		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	A 平成29年度の利用者数は 約2,700人と昨年度(約2,100 人)より増加。また、乗合率 も、1.39人と昨年度(1.29人) より上昇した。	

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
近江タクシー株式会社	石寺線 市立病院～稲枝駅～雨降野信 号前		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	A 平成29年度の利用者数は 約2,600人と昨年度(約2,400 人)より増加。また、乗合率 も、1.39人と昨年度(1.27人) より上昇した。	
近江タクシー株式会社	日夏線 友仁山崎病院～河瀬駅西口～ 豊郷駅		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	A 平成29年度の利用者数は 約1,300人と昨年度(約1,400 人)より若干減少。一方、乗 合率は、1.36人と昨年度 (1.34人)より若干上昇した。	
近江タクシー株式会社	愛荘西部線 稲枝駅～豊郷病院～湖東記念 病院前		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	A 平成29年度の利用者数は 約2,300人と昨年度(約2,400 人)より若干減少。一方、乗 合率は、1.35人と昨年度 (1.27人)より上昇した。	
近江タクシー株式会社	金剛輪寺線 稲枝駅～豊郷病院～湖東記念 病院前		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	A 平成29年度の利用者数は 約3,800人と昨年度(約3,100 人)より増加。また、乗合率 も、1.40人と昨年度(1.39人) より若干上昇した。	
近江タクシー株式会社	甲良線 市立病院～甲良町役場～豊郷 駅		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	B 平成29年度の利用者数は 約5,200人と昨年度(約5,900 人)より減少。また、乗合率 も、1.58人と昨年度(1.71人) より下降した。	
近江タクシー株式会社	河内線 市立病院～多賀大社前駅～落 合		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。	B 平成29年度の利用者数は 約3,800人と昨年度(約4,300 人)より減少。また、乗合率 も、1.77人と昨年度(2.02人) より下降した。	
近江タクシー株式会社	萱原線 市立病院～多賀大社駅前～旧 保育園前		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	A 平成29年度の利用者数は 約2,400人と昨年度と同程 度。一方、乗合率は、1.77人 と昨年度(1.71人)より上昇 した。	
近江タクシー株式会社	大君ヶ畑線 市立病院～多賀大社駅前～大 君ヶ畑奥		A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施されて いる。また、地域住民からの 要望で、新設停留所を設け て利便性の向上を行った。	A 平成29年度の利用者数は 約3,400人と昨年度(約3,300 人)より若干増加。また、乗 合率も、1.40人と昨年度 (1.34人)より上昇した。	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年 1月 17日

協議会名:	湖東圏域地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	【事業実施の目的・必要性】 湖東圏域には多くの公共交通空白地域が存在し、住民の日常生活に不便を強いられている状況である。一方、路線バスについても、毎年多額の赤字額を計上しているなか、交通空白地域においてバス路線で対応することが困難である。そのような中で、比較的低コストで交通空白地域の解消を目的として、セダン型タクシーを活用した予約型乗合タクシー「愛のリタクシー」を導入し、確保・維持することにより、交通空白地域の解消と住民の移動手段の確保を図るものである。 【生活交通ネットワーク計画との関連】 地域協働推進事業に含まれる予約型乗合タクシーの運行や紙媒体・WEB/携帯での情報提供が、生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統)と密接に関連しており、生活交通ネットワーク計画の目標を協働推進事業の目標の一つとして定めている。そのため、協働推進事業で実施したダイヤ改正や、地域住民や自治体等の要望に対応した停留所の新設・移設、パンフレットによる周知等は生活交通ネットワーク計画の目標達成に寄与している。今後は、予約型乗合タクシーの効率化を図り、目標である乗合率向上の具体的施策を検討する必要がある。

地域公共交通バリア解消促進等事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年 1月 17日

協議会名: 湖東圏域地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: バリアフリー化設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
湖国バス株式会社	ノンステップバス2台導入		A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 計画どおり2台のノンステップバス車両を導入した。	当該年度の事業は完了した。 しかしながら、湖東圏域を走行するノンステップバス車両は、10両で、20両ある車両のうち、占める割合は約50%にとどまることから、引き続き、老朽化したバス車両からノンステップバスへの置き換えを進める必要がある。 (H30.1月時点)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年 1月 17日

協議会名:	湖東圏域地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	バリアフリー化設備等整備事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	湖東圏域を走行するバス車両は20両で、そのうち10両がノンステップバスで、残りの10両が非低床車両である。ノンステップバスは、車いす使用者をはじめ、歩行困難者や障がいをお持ちの方、高齢者、妊婦、ベビーカー使用者などあらゆる利用者に対し利便性を発揮することから、誰もが社会参加できる機会を増やすことを事業の目的としているところである。また、公共交通機関の利用環境の改善を図ることで、誰もが安心して移動できる地域公共交通ネットワークの形成を目指す。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成30年1月17日

協議会名:湖東圏域地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画推進事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
紙媒体での提供 【彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町・湖国バス(株)・彦根観光バス(株)・近江鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)】 ・H30.5の路線バスダイヤ改正予定にあわせ、圏域内の全路線バスの路線図や時刻表を網羅した総合時刻表を作成し、圏域内全世帯(約75,500世帯 ※予備も含む)へ配付を予定している。(3月中に印刷予定) ・H29.10の愛のリタクシー改正にあわせ、ダイヤ改正や停留所見直し等にあわせ、各路線のパンフレットを作成し、沿線地域の世帯(延べ65,300部 ※予備も含む)へ配付した。	B 愛のリタクシーは計画通り適切に事業を実施したが、路線バスについては現在総合時刻表を作成中である。	・愛のリタクシーのパンフレットは、前年度よりも字を大きく見やすくするために、全て冊子タイプに改善を行ったが、H30.3に印刷予定の路線バスにおいてもページの再構成を検討し、分りやすく見やすい時刻表を作成する。 ・具体的には、路線バスの総合時刻表は、路線ごとに路線図と時刻表を見開きにて作成しているが、湖東圏域全体の路線が把握できるよう全体路線図を追加する。 ・また、結節点である南彦根駅での路線バス乗り継ぎ案内を拡充し、利用者増加の推進を図る。
HP等のWEBでの提供 【彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町・湖国バス(株)・彦根観光バス(株)・近江鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)】 ・H30.5の路線バスダイヤ改正予定にあわせ、湖東圏域公共交通活性化協議会のホームページで提供している情報の更新を行う予定。(3月中にデータ整備) ・H29.10の愛のリタクシー改正にあわせ、ホームページ内の情報を更新した。 ・また、年に2回発行しているニュースレターの10月号で愛のリタクシーの改正内容を周知するとともに、ホームページ内にも掲載した。	B 愛のリタクシーは計画通り適切に事業を実施したが、路線バスについてはH30.5の改正に合わせて更新する予定である。	・湖東圏域公共交通活性化協議会のホームページ内(事務局の彦根市役所)だけでなく、各町で行っている情報提供にあったデータ作成を行う。 ・彦根市が取り組んでいる「彦根まっぷ」(※地図情報を提供するサイト)にて、路線バスや愛のリタクシーの経路やバス停留所の提供を行い、公共交通の認知向上を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成30年1月17日

協議会名:湖東圏域地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通再編推進事業(再編計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容】 - 湖東圏域内公共交通網のバス路線再編の検討 - 湖東圏域内公共交通網の愛のリタクシーの検討 - 個別路線の再編内容の検討 - 地域公共交通再編実施計画の作成 【結果概要】 - 路線バスや愛のリタクシーの動態調査および利用状況分析を行い、現在の需要を把握した。 - 特に、路線バスは往復別平・土・日別の通過人員や乗降人数等を整理した路線カルテを作成した。 - 個別路線の具体的な再編(廃止路線、縮小路線、新規路線(市内循環線))の提示、代替案としての愛のリタクシーの位置付け等を明確にした。 - 路線バスの高校生利用増加策や愛のリタクシーの乗合率向上策を検討(考えられる施策一覧の整理)した。 - 今後の協議会の検討を経て、再編計画の案をとりまとめる。	B 協議会を構成する市町や運行事業者と協議を重ね計画通り事業を進めている。しかし、バス路線再編の前提として路線バス運行事業者における運転手不足に伴い、車両確保が難しく、再編が難航しているため、再編の最終案に至っていない。	再編の最終案に至っていないこともあり、H30.3に案を作成し、更なる協議を進めていき、H30度に再編計画の策定を見込んでいる。また、地域公共交通網形成計画に記載の再編計画と差異が生じることとなるため、網形成計画の改正も同時に行う。 再編計画では、市内循環線(2路線)の目的に応じたルート・ダイヤの設定、代替案としての愛のリタクシーのルート・サービスレベルの設定を早急に行う。 合わせて、高校生利用増加策や愛のリタクシーの乗合率向上策を来年度以降の実施に向けて再検討する。